

## 川崎市視覚障害者情報文化センター

### 平成27年度事業計画

#### 事業計画

##### (1) 閲覧・貸出

約450人(個人・団体)の登録利用者に対し、点字図書は年間150タイトル、録音図書は年間7,000タイトルの提供を目指す。また、点字雑誌は年間500タイトル、録音雑誌は年間3,500タイトル提供する。他図書館からの相互貸借依頼にも蔵書の貸出しを原則として、点字資料を年間100タイトル、録音資料を年間1,750タイトル提供する。ダウンロードサービス件数およびシネマデイジーも含めて総貸出し数は13,400件提供する。

##### (2) 資料製作

利用者のニーズを尊重した図書選定を行い、点字図書は年間40タイトル、録音図書は年間100タイトルの製作をめざす。また、テキストデイジー図書の6タイトルの製作を行う。音声ガイド制作に取り組んでいく。

##### (3) 点訳者、音訳者の研修、音声ガイド制作者の養成講座

平成27年度は、活動中の点訳者・音訳者を対象としたスキルアップ研修会や校正者を対象としたスキルアップ研修会を開催する。

映像の街川崎の事業として、視覚障害者の人たちに映画を楽しんでいただく音声ガイド制作に取り組んでいく。ボランティアを募り音声ガイド制作者の養成講座を開催する。

##### (4) 訓練事業と用具販売事業への取り組み

平成26年度からの訓練継続者を含め、延べ25名に歩行、生活、コミュニケーションなどの各種訓練を行う。それ以外に、訪問指導や来所指導といった短期間での訓練指導は延べ90回実施する。

視覚障害者のための日常生活用具と便利グッズの代表的なもの、最新のものなどを展示し、販売を行う。訓練と連携を密にし、訓練生にこれらの商品を紹介し使用してもらうことでQOLの向上を図っていく。また、補装具・日常生活用具の制度や申請の方法を積極的に周知していく。

(5) ボランティアの協力、連携強化に努め、利用者への情報提供に取り組んでいく。

(6) 啓発普及について

福祉事務所での手帳交付時に事業案内ができる事業案内パンフレットを、各福祉事務所、生活支援センター等、関連機関・団体へ配布を行う。事業報告会を開催し、図書館事業・視覚障害者訓練事業の認知を深める。

センターまで足を運ぶことが難しい利用者に対し、川崎市各区においてセンターを知っていただくための事業体験会を開催する。

(7) その他事業について

センターの文化的活動として副音声付映画体験会やコンサートなどイベントを開催する。

(8) 防災・減災対策の推進

発災時に当センターにいる職員、ボランティア、利用者の安全を確保するため、防災・減災への対応を行う。視覚障害者の防災対策セミナーを開催し災害への準備、心構えなど、視覚障害者が事前に準備しておくべきことをセミナー形式で伝え、視覚障害者向けの防災グッズなども紹介する。